

平成30年「宿泊施設実態調査」の結果について

	H29年	H30年	増減数	対前年比
宿泊施設軒数	2,082 軒	2,488 軒	+ 406 軒	119.5%
客室数	46,068 室	49,560 室	+ 3,492 室	107.6%
収容人数	121,403 人	132,445 人	+ 11,042 人	109.1%

1 調査の概要

(目的)

沖縄県内の宿泊施設数、客室数、収容人数を宿泊施設の種類別に把握し、今後の観光客受入体制の整備に資するとともに、観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

(調査の方法)

沖縄県内各市町村から、平成30年12月31日時点における各市町村所在の宿泊施設について、宿泊施設ごとの客室数、収容人数等のデータの提供を受け集計した。

ただし、風俗営業等の規制及び業務の適性化等に関する法律第2条6項4号に該当する施設(モーテル、ラブホテル等)及び民泊施設は除く。

※宿泊施設の区分については、次ページ参照

2 調査結果の概要

各合計数を前年調査結果と比較すると、軒数はプラス406軒(対前年比119.5%)、客室数はプラス3,492室(対前年比107.6%)、収容人数はプラス11,042人(対前年比109.1%)となり、軒数、客室数、収容人数合計ともに、平成14年以降17年連続で過去最高となった。

平成30年宿泊施設 軒数・客室数・収容人数

平成30年12月31日現在

平成30年	軒 数		客室数		収容人数	
	(軒)	対前年比 (%)	(室)	対前年比 (%)	(人)	対前年比 (%)
ホテル・旅館	561	120.4%	39,414	108.0%	100,760	108.6%
大規模 (収容人数300人以上)	96	103.2%	22,433	103.2%	63,472	104.6%
中規模 (収容人数299~100人)	141	110.2%	11,166	108.8%	24,659	110.1%
小規模 (収容人数100人未満)	324	132.2%	5,815	129.9%	12,629	130.6%
民宿等	1,890	119.7%	9,730	106.1%	28,447	111.2%
団体経営施設・ユースホステル	37	100.0%	416	102.2%	3,238	104.8%
合 計	2,488	119.5%	49,560	107.6%	132,445	109.1%

※1 ホテル・旅館=リゾートホテル、ビジネス・宿泊特化型ホテル、シティーホテル、旅館

※2 民宿等=民宿、ペンション・貸別荘、ドミトリー・ゲストハウス、ウィークリーマンション

※3 平成30年1月1日~平成30年12月31日の期間に新規開業・廃業した施設のほか、新たに宿泊施設の営業・廃業の実態が確認された施設も含む。

＜宿泊種別の区分＞

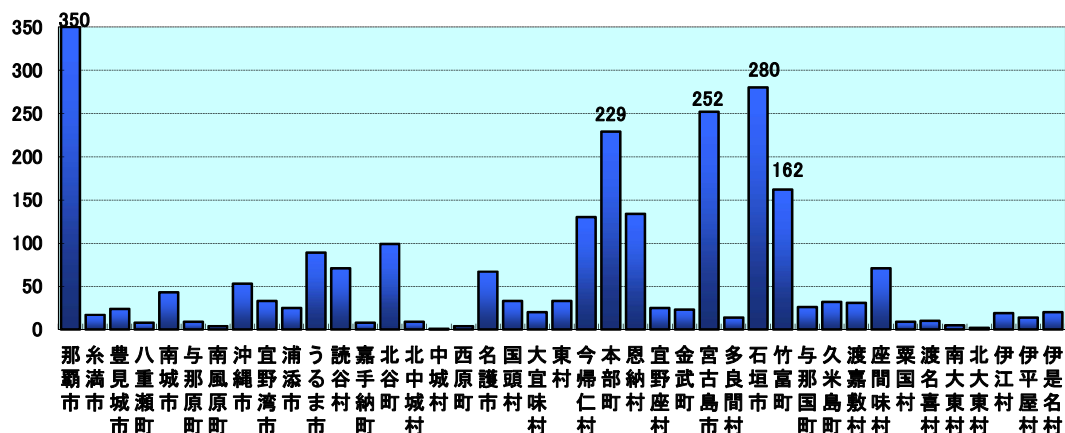
種 別	定 義
リゾートホテル	各室にバス・トイレ等を備えた洋室が主体の施設。レストランや結婚式会場等の付帯施設を備えたレジャー型ホテル。主に本島中北部地域、離島地域に立地し上記機能を備えたホテル。
ビジネス・宿泊特化型ホテル	各室にバス・トイレ等を備えた洋室が主体の施設。宿泊機能を中心としたタイプのホテル。
シティーホテル	各室にバス・トイレ等を備えた洋室が主体の施設。宿泊機能のほかレストランや結婚式会場、宴会場等の付帯施設を備えた多機能・都市型ホテル。
旅館	和室が主体の比較的規模の大きな施設。民宿等との区別が困難な場合は、当該施設の名称等で区別する。
民宿	バス・トイレが共用となっている和室が主体の比較的規模が小さい施設。旅館等との区別が困難な場合は、当該施設名称等で区別する。
ペンション・貸別荘	洋室が主体の比較的規模が小さい施設。ホテル等との区別が困難な場合は、当該施設の名称等で区別する。プチホテル、貸別荘などの名称で観光客が宿泊しているものも含める。
ドミトリー・ゲストハウス	多人数で供用する宿泊室があり、低料金で宿泊できる簡易宿所。個室を併設している場合も含める。
ウィークリーマンション	寝具が完備され、短期で貸すマンション・アパート
団体経営施設	財団法人等が経営する公共宿泊施設
ユースホステル	(財)日本ユースホステル協会加盟施設等

※ H26年調査より、ホテルを「リゾート」「ビジネス・宿泊特化型」「シティー」の種別に分けて調査を実施

※ 区分しがたい場合は、営業実態、名称等により市町村が判断

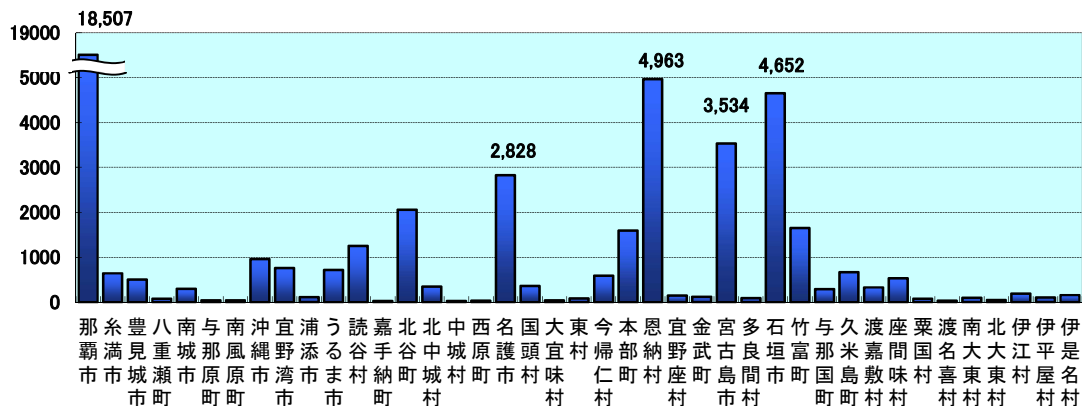
3 市町村別結果の概要

3-1 市町村別宿泊施設の「軒数」



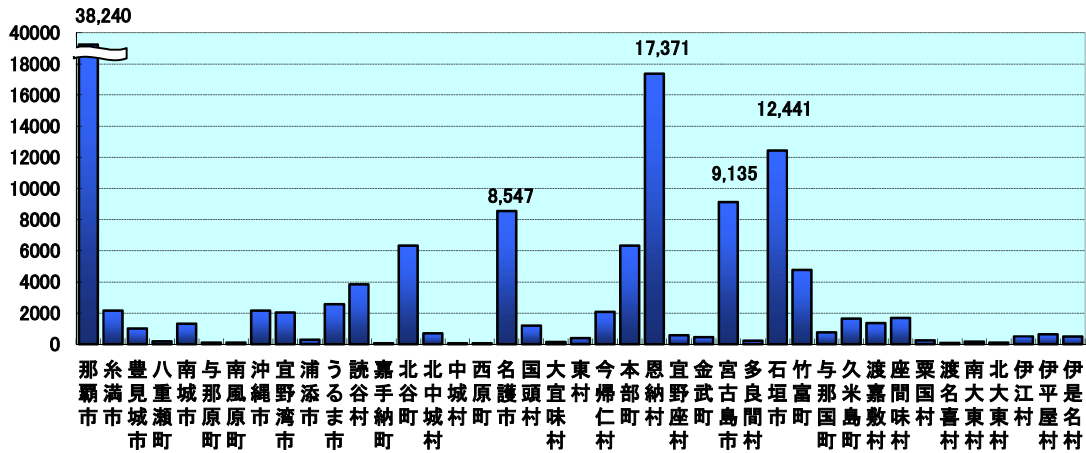
宿泊施設数は那覇市が350軒と最も多く、次いで石垣市280軒、宮古島市252軒の順となっている。

3-2 市町村別宿泊施設の「客室数」



那覇市は宿泊施設数が県内で最も多く大規模施設が多く所在していることから、客室数も18,507室と最も多くなっており、次いで恩納村の4,963室、石垣市の4,652室の順となっている。

3-3 市町村別宿泊施設の「収容人数」



那覇市は宿泊施設数が県内で最も多く大規模施設が多く所在していることから、収容人数も38,240人と最も多くなっており、次いで恩納村の17,371人、石垣市の12,441人の順となっている。

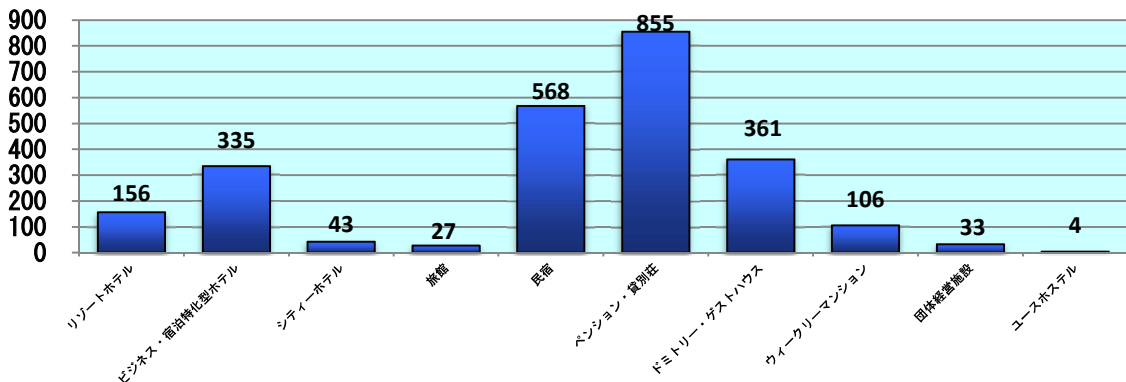
4 宿泊施設種別の概要

宿泊施設を種別でみると、ペンション・貸別荘の増加率が最も高く、次にビジネス・宿泊特化型ホテルの順となっている。

平成30年宿泊施設種別 軒数・客室数・収容人数 平成30年12月31日現在

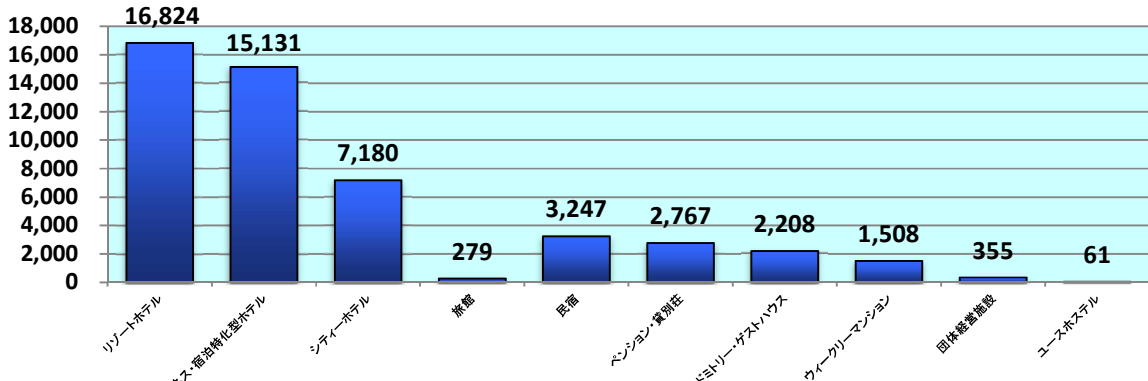
平成30年	軒数		客室数		収容人数	
	(軒)	対前年比 (%)	(室)	対前年比 (%)	(人)	対前年比 (%)
ホテル・旅館	561	120.4%	39,414	108.0%	100,760	108.6%
リゾートホテル	156	110.6%	16,824	106.5%	53,271	106.3%
ビジネス・宿泊特化型ホテル	335	129.3%	15,131	112.7%	29,254	116.5%
シティーホテル	43	104.9%	7,180	102.6%	17,397	103.7%
旅館	27	108.0%	279	106.5%	838	114.8%
民宿等	1,890	119.7%	9,730	106.1%	28,447	111.2%
民宿	568	105.2%	3,247	99.8%	8,789	101.4%
ペンション・貸別荘	855	134.2%	2,767	120.6%	10,512	125.7%
ドミトリー・ゲストハウス	361	119.5%	2,208	110.3%	6,076	114.1%
ウィークリーマンション	106	106.0%	1,508	92.8%	3,070	95.5%
団体経営施設	33	100.0%	355	102.6%	2,977	105.1%
ユースホステル	4	100.0%	61	100.0%	261	101.2%
合計	2,488	119.5%	49,560	107.6%	132,445	109.1%

4-1 宿泊種別 宿泊施設の「軒数」



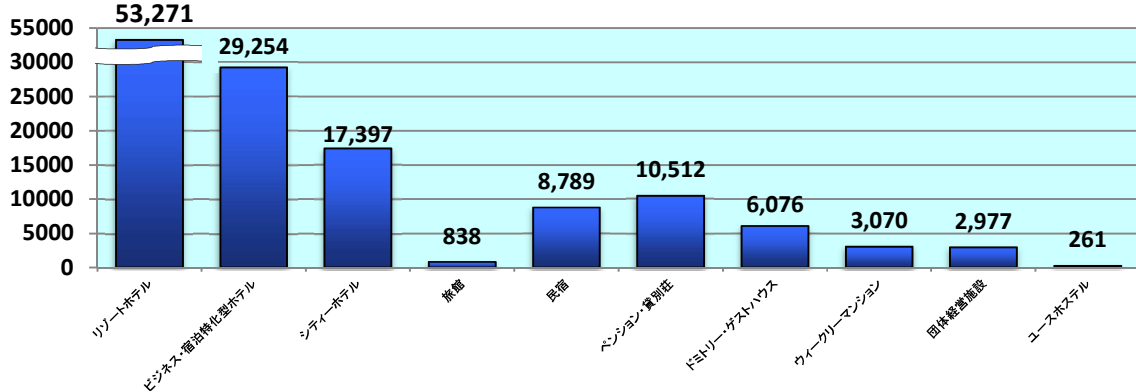
宿泊施設数は、「ペンション・貸別荘」が855軒と最も多く、次いで「民宿」が568軒、「ドミトリー・ゲストハウス」が361軒となっている。

4-2 宿泊種別 宿泊施設の「客室数」



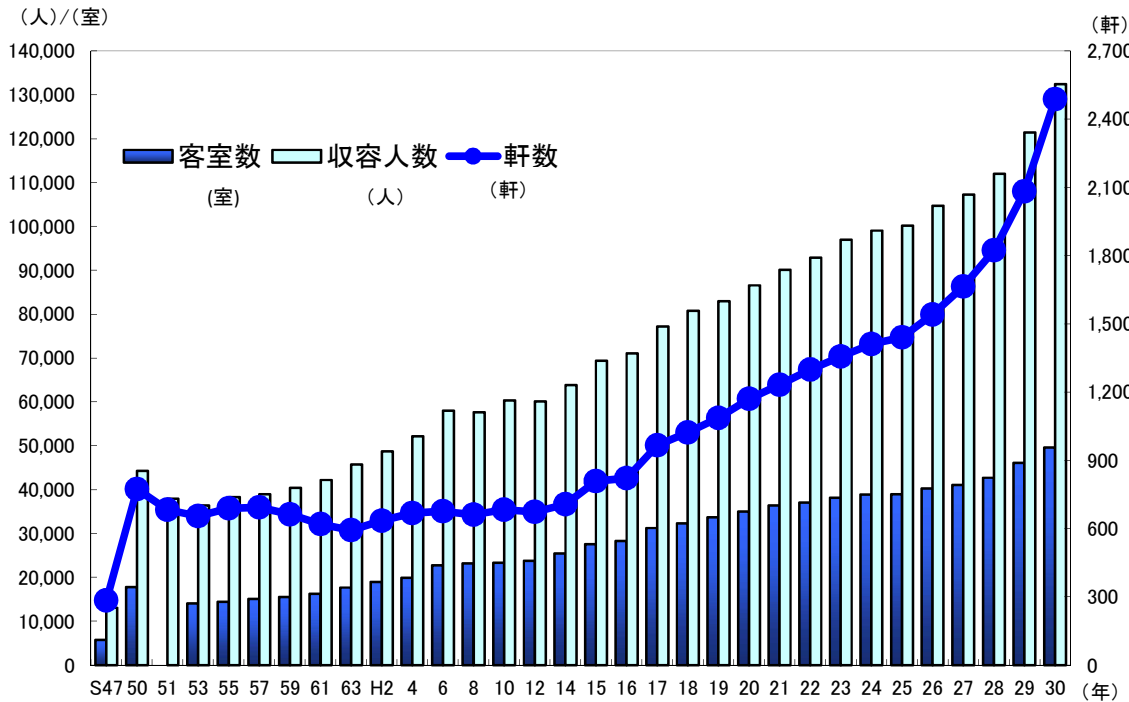
客室数については、「リゾートホテル」(16,824室)、「ビジネス・宿泊特化型ホテル」(15,131室)、「シティーホテル」(7,180室)の順となっている。

4-3 宿泊種別 宿泊施設の「収容人数」



収容人数については、「リゾートホテル」が53,271人と最も多く、次いで「ビジネス・宿泊特化型ホテル」が29,254人となっている。

5 宿泊施設等の推移



	S47年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
宿泊施設軒数	284	1,541	1,664	1,823	2,082	2,488
客室数	5,745	40,243	41,037	42,695	46,068	49,560
収容人数	13,054	104,724	107,190	111,982	121,403	132,445